

平成 28 年度

渡嘉敷村観光振興実施計画等策定に  
むけた基礎調査委託業務

業 務 報 告 書

株式会社 ライヴス

代表取締役 清家 貴

沖縄県那覇市字小禄 1831-1  
沖縄産業支援センター509号室

Tel:098-996-2272 Fax:098-996-2273

## 1. 本業務について

### 1-1 本業務の目的

渡嘉敷村観光振興実施計画等を策定するために必要な各種調査を実施し、その結果と、今までに渡嘉敷村が実施した他の調査分析結果を用いて、渡嘉敷村観光の現状分析を実施する。この分析結果を関係者に共有した上で、関係者と共に今後の渡嘉敷村観光振興の方向性を探る。

### 1-2 本業務の実施期間

平成28年5月25日から平成29年3月21日まで（301日間）

## 2. 実施状況

### 2-1 事前説明会

#### (1) 第一部

##### ① 日時

平成27年6月27日(火) 14:00 ~ 15:00

##### ② 場所

渡嘉敷村中央公民館 2F

##### ③ 参加人数

8名

##### ④ 実施風景



## (2) 第二部

### ① 日時

平成 27 年 6 月 27 日 (火) 16:00~17:00

### ② 場所

阿波連生活館

### ③ 参加者

※参加者がいなかったため、中止とした。

## (3) 第三部

### ① 日時

平成 27 年 6 月 27 日 (火) 18:00 ~ 19:00

### ② 場所

渡嘉敷村中央公民館 1 F

### ③ 参加人数

6名

### ④ 実施風景



#### (4) 第四部

① 日時

平成 27 年 6 月 27 日 (火) 20:00 ~ 21:00

② 場所

阿波連生活館

③ 参加人数

2 名

④ 実施風景



## 2-2 住民意向調査

### (1) 概要

#### ① 調査対象

渡嘉敷村在住の18歳以上の全村民

(但し、高校生は除き、かつ、戸籍を残したまま、村外に住んでいる人は対象外とする)

#### ② 調査項目

以下の通りとなる。

大項目	No.	調査項目
家族構成	1	家族構成
	2	5年後の家族構成
	3	10年後の家族構成
	4	子供の渡嘉敷島への居任意向
	5	生活費
属性	6	回答者の家族内の続柄
	7	回答者の性別
	8	回答者の年代
	9	回答者の職業
	10	回答者の出身
	11	回答者の渡嘉敷村への居住年数
	12	回答者の渡嘉敷村への居任意向
職業	13	現在の就業状況
	14	現在の業種
	15	現在の雇用形態
	16	現在の就業年数
	17	現在の収入状況
	18	現在の職の就業意向
	19	現在の職の希望就業年数
	20	現在の職への将来的不安
	21	退職・定年後の生活
観光客	22	観光客の増減意向
	23	観光客への観光案内の経験
	24	観光案内した対象者
	25	観光客に対して困ったこと
	26	観光客にお薦めの過ごし方

	27	観光客にお薦めの観光資源
	28	観光客に具体的なお薦め場所
	29	冬場の観光に力を入れるべき
	30	冬場の観光メニュー
	31	観光振興につながる取り組みの有無
	32	観光振興施策に必要な施策
国立公園指定	33	国立公園指定の意味の認知度
	34	国立公園指定を受けての考え方
自由回答	35	自由回答

③ 調査期間

平成 28 年 8 月 10 日（水）～10 月 31 日（月）

④ 配布方法

各自治会にアンケート調査票を配布し、各戸に配布

⑤ 回収方法

各自治会長が各戸へ回収し、その後、未回収部分は調査員が直接各戸へ個別に回収に回った。

※回収場所：渡嘉敷村役場、阿波連ビーチ管理棟

⑥ 回収数

221 票

⑦ 調査結果

別紙「渡嘉敷村アンケート調査結果報告書～住民意向調査～」参照

## 2-3 小中学生意向調査

### (1) 概要

#### ① 調査対象

渡嘉敷村に住んでいる小中学生

#### ② 調査項目

以下の通りとなる。

大項目	No.	調査項目
属性	1	回答者の性別
	2	回答者の学年
	3	回答者の出身
	4	渡嘉敷村出身者以外の居住年数
渡嘉敷島	5	渡嘉敷島への愛着度
	6	渡嘉敷島の良い点、悪い点
	7	渡嘉敷島に対する居留意向
	8	渡嘉敷島での就業意向
	9	働きたい仕事内容
観光客	10	観光客との接触機会の有無
	11	接触したことのある観光客の国籍
	12	観光客との接触で困ったことの有無
	13	その他自分の将来について

#### ③ 調査期間

平成28年8月10日(水)～10月31日(月)

#### ④ 配布方法

各自治会にアンケート調査票を配布し、各戸に配布

#### ⑤ 回収方法

各自治会長が各戸へ回収し、その後、未回収部分は調査員が直接各戸へ個別に回収に回った。※回収場所：渡嘉敷村役場、阿波連ビーチ管理棟

#### ⑥ 回収数

36票

#### ⑦ 調査結果

別紙「渡嘉敷村アンケート調査結果報告書～小中学生意向調査～」参照



## 2-4 観光客意識調査

### (1) 概要

#### ① 調査対象

渡嘉敷島に来た観光客（日本人、外国人）

#### ② 調査項目

以下の通りとなる。

大項目	No.	調査項目	日本人	外国人
属性	1	回答者の性別	1	1
	2	回答者の年代	2	2
	3	回答者の出身	3	3
	4	回答者の職業	4	4
旅行全般	5	過去1年以内の旅行の有無	5	5
	6	過去1年以内の旅行先	6	6
	7	旅行先を決める際の重視事項	7	7
情報収集 事前調査	8	情報収集方法	8	8
	9	入手できなかった情報	9	9
	10	情報収集時期	10	10
	11	渡嘉敷島へ行くと決めた時	11	11
	12	渡嘉敷島の認知度	12	12
	13	渡嘉敷島のイメージ（来る前）	13	13
	14	渡嘉敷島の訪れたい場所（来る前）	14	14
渡嘉敷島	15	沖縄県への交通手段	—	15
	16	沖縄県に訪れた回数	15	16
	17	日本を訪れた回数	—	17
	18	渡嘉敷島に訪れる回数	16	18
	19	前回渡嘉敷島に訪れた時期	17	19
	20	同伴者	18	20
	21	旅行形態	19	21
	22	移動手段	20	22
	23	沖縄旅行の日程	21	23
	24	渡嘉敷島旅行の日程	22	24
	25	宿泊先	23	25
	26	夜の過ごし方	24	26
	27	イメージと異なっていたもの	25	27

	28	渡嘉敷島でよかった場所	26	28
	29	渡嘉敷島の美化の印象	27	29
	30	渡嘉敷島の自然環境の印象	28	30
	31	渡嘉敷島で使った費用	29	31
	32	渡嘉敷島観光についての意見	30	32
	33	満足度	31	33
危機管理	34	災害・事故時の必要なもの	32	34
再来訪	35	渡嘉敷島への再来訪	33	35

③ 調査期間

平成 28 年 8 月 23 日（火）～平成 29 年 2 月 23 日（金）

④ 実施方法

- ・記入式のアンケート調査を実施した。
- ・フェリー及び高速船により沖縄本島に帰る人に対して、アンケート票を手配りで配布し、船上での記入をお願いした。
- ・記入後のアンケート票は回収箱にて回収した。

※実施中は常にスタッフを配置し、記入漏れがないよう、「記入方法がわからない」などの質問に答えられるようにした。

⑤ 回収数

日本人 138 人、外国人 30 人 合計 168 人

⑥ 調査結果

別紙「渡嘉敷村アンケート調査結果報告書～観光客意識調査～」参照

## 2-5 事業者意向調査

### (1) 概要

#### ① 調査対象

渡嘉敷島内の全事業者

#### ② 調査項目

以下の通りとなる。

大項目	No.	調査項目
現状	1	事業業種
	2	年間総売上
	3	目標売上の達成度
	4	創業年（事業年数）
	5	従業員数
	6	年間における月売上の割合
	7	繁忙期の稼働率
	8	閑散期の稼働率
	9	国内観光客の推移（5年前と比較）
	10	国内観光客のリピート率（5年前と比較）
	11	イベント目当ての宿泊客の有無
	12	冬場の事業の有無
	13	冬場の集客の意向
	14	冬場に提供したいサービス・商品
今後	15	今後5年以上の事業継続意向
	16	事業継続における課題の有無
	17	今後展開したい新サービス・新商品の有無
	18	今後増えてほしい客層
外国人の受入	19	外国人観光客の受入の有無
	20	受入れた外国人の国籍
	21	外国人観光客の売上割合
	22	外国人受入の対策
	23	外国人受入で困ったこと
	24	外国人受入の拡大意向
	25	拡大の際に必要なサポート
事業所の取組	26	観光危機管理の各取組状況
	27	観光危機管理の各対策の実施状況

	28	災害・気象情報サービスの利用状況
	29	災害・事故発生時の情報収集体制
	30	災害・事故発生時の情報提供体制
観光振興への取組	31	渡嘉敷村の観光振興への取組方法
	32	冬場の観光誘客
	33	冬場の観光メニュー
自由回答	34	自由回答

③ 調査期間

平成 28 年 8 月 29 日（月）～10 月 31 日（月）

④ 配布方法

各事業者へ直接調査票を配布した。

⑤ 回収方法

調査員が各事業者へ直接伺い回収した。

⑥ 回収数

21 票

⑦ 調査結果

別紙「渡嘉敷村アンケート調査結果報告書～事業者意向調査～」参照

## 2-6 調査結果報告会

### (1) 概要

① 日時

平成27年12月5日(火) 19:00～20:30

② 場所

渡嘉敷村中央公民館 1F

③ 実施内容

実施した各種観光調査の結果を報告

④ 参加人数

12名

⑤ 実施風景



## 3. 本業務について

### 3-1 総評

#### (1) 住民調査について

観光基礎調査の実施に関して、調査を実施する前に、村民に対して事前説明会を実施したが、あまり参加者数も多くなかった。そのため、多くの村民へ観光基礎調査の実施を認知させていくのが難しかった。なお、島内放送や直接関係者にお声掛けするなど、呼びかけも行った。

調査票の配布を各自治会長にお願いしたことから、調査の配布時期が遅れてしまったり、配布し忘れなどもあり、配布段階で時間がかかってしまったところもあった。その結果、調査票の回収遅れにも繋がり、当初予定よりも多くズレこんでしまった。

調査期間を当初二週間に設定していたが、配布が遅れたことにより、期間を延長し、回答者数を増やす対策を凶った。また、未回収分については、調査員が各戸に直接訪問し、回答してもらうよう取り計らいながら、順次回収することで、多くの回答を得ることが出来た。ただ、回収に回った際には不在も場合も多く、何度も行くことになり、多くの時間を要してしまった。訪問する時間帯は日中ではなく、夕方以降がより回収しやすいと言える。

調査票自体が、若干複雑な内容となり、かつ、設問数が多くなったため、回答することが難しい部分もあり、回答しなかった、あるいは回答できなかった住民（特に高齢者）もいた。このことから、まずはどの方でも回答しやすい内容であり、設問数も限定して行うことが、より多くの意見を収集できるポイントになると思われる。

なお、直接訪問しお話をすることで、観光事業の取組みについての周知も凶られ、かつ、アンケートの回収率を上げることにも繋げられた。こうした取り組みにより、少しずつではあるが、住民の関心度を上げて巻き込んでいき、関わっていただくよう進めていった。

#### (2) 小中学生調査について

当初、学校での実施を検討したが、調査実施時期が夏休みと重なってしまったため、実現が難しくなった。その結果、住民調査と同様に、各家庭の小中学生を割出し、それぞれに配布する形となった。学校での調査が実施可能な場合は、できる限り学校での実施が望ましく、そのことで、回収率も上げられると思われる。

### (3) 観光客調査について

フェリーで渡嘉敷島から沖縄本島の泊港へ帰る観光客に対して、アンケートを実施したが、帰りの便であるため、寝ている観光客も多く、1回あたり多くの回答を回収することが難しい部分があった。

また、乗船後にそれぞれに配布し、協力をあおぐ形となったため、協力してくれる観光客もあまり多くなかった。できれば、乗船の際に、切符の確認とともに、一緒に配布できると、より多くの回答が得やすくなると思われる。

その他、アンケートを実施する時期により、人数の変動があることや、修学旅行と重なった場合に、学生の回答が多くなるなどの一般の観光客とは若干異なる意見の収集になってしまうこともあった。

### (4) 事業者調査について

直接訪問によるアンケートの回答依頼を実施した。直接お話をしながらアンケート依頼をするため、事業者に観光事業について周知でき、かつネットワーク構築や回答数の増加に繋がれたと言える。

また、これをきっかけに、事業者の関心を上げることができ、事業者との距離感も近くなり、ガイドブック制作委員会への出席のお声掛けも行いやすくなったと言える。

ただ、訪問時間により不在のところもあるなど、業種に合わせて訪問するタイミングを調整する必要があるだろう。

設問内容も複雑化し、具体的な数字を答える設問もあるなど、回答者が回答しにくいものも設問項目として入れていたが、わからない・答えにくい部分も多かったと思われる。このことから、より回答しやすい仕様にすることも検討していく必要があるだろう。

### 3-2 今後の課題

今回の調査でできた住民及び事業者とのネットワークを維持するために、継続したアプローチと、定期的な会議や集まる機会を設けることが必要だろう。

また、会と設ける際にも、毎回、関係者や関心者に直接のお声掛けを行うなど、少しずつでも巻き込んでいき、様々な関係者の連携や協働を促していけるよう進めていくことが重要であると言える。

その他、事業を進めるにあたって関係していきそうな事業者にも積極的に声を掛けていくことが大切である。

現状としては、渡嘉敷地区と阿波連地区で二極化しているため、観光の視点でよりよい島にしていくためには、全体としての共通認識と協働関係が不可欠になるため、それらの関係性向上と連携を促進する取り組みが必要と思われる。